

*前期比：D I・季節調整済

景況

震災直前まで5期連続改善してきた業況判断DI値は今期-46と前期の予想DI値を8ポイント、実績DI値に比べると10ポイント悪化する結果となりました。売上、収益、資金繰りはともに後退となりました。設備投資については、車両を中心に12%の先が実施しましたが、前期に比べ1ポイント減少となりました。

来期の予想業況判断DI値は-53となり、更に今期の業況判断DI値を7ポイント悪化すると予想しています。しかしながら、売上、収益、資金繰りについてはともに改善すると予想しています。設備投資については、車両を中心に6%の先が実施を予定しているものの、今期に比べると6ポイント減少する予定です。

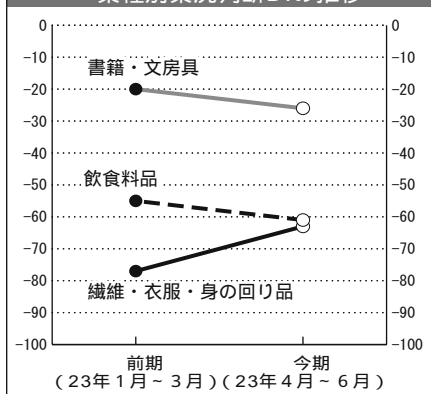
調査員のコメント

■復興工事の影響もあり、資材の売上が伸びている。

(建築資材、屋根材販売業)

■震災により商品在庫を売りつくすことが出来たが、仕入ができず数日店を開けることが出来なかった。現在は、商品の品揃えは元に戻った。(コンビニエンスストア)

業種別業況判断DIの推移



経営上の問題点

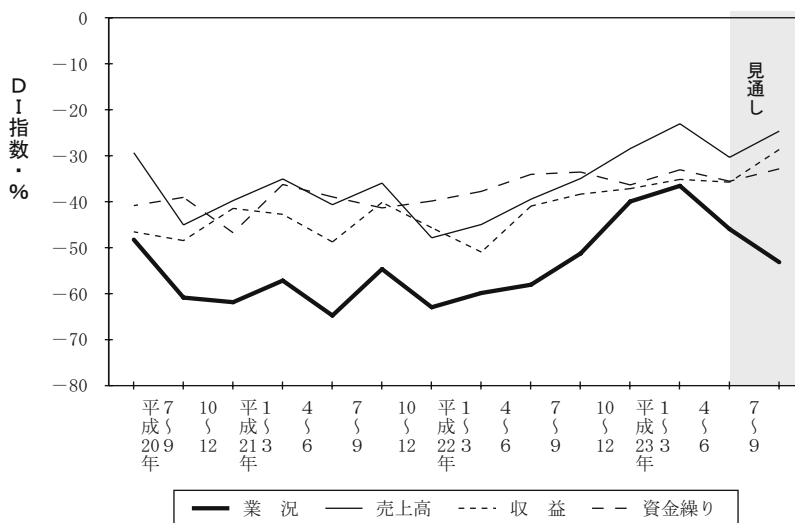
1位	売上の停滞・減少(1)	68%
2位	大型店との競争の激化	26%
3位	同業者間の競争の激化	21%

当面の重点経営施策

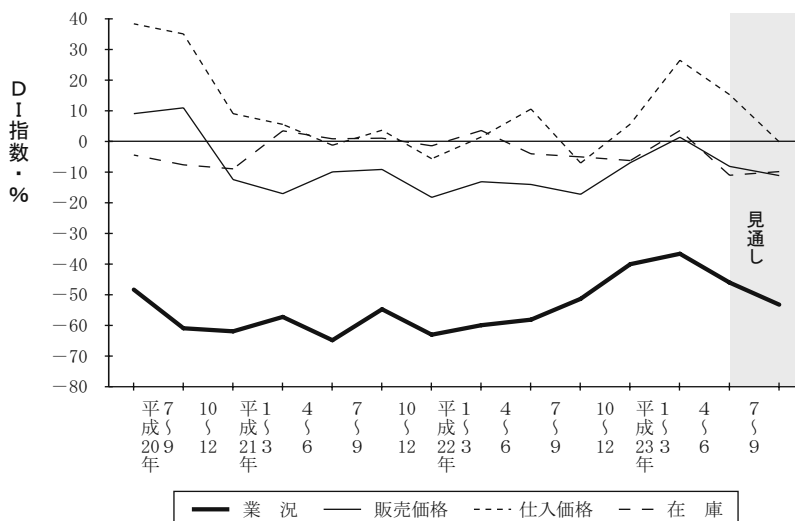
1位	経費を節減する(1)	60%
2位	品揃えを改善する	43%
3位	宣伝・広告を強化する	12%

*()は前回順位

景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況

